

授業科目名	電子オルガンアンサンブルⅢ・ⅣB	担当形態	実習		
		開講学期	秋		
担当教員	水野 修平	単位	1	年次	3

＝授業のテーマ及び到達目標＝

ジャズの基本である Swing Beat を基にスタンダード、ジャズオリジナル等の楽曲を様々なアンサンブル形態で（即興）演奏できるようにする。

＝履修の条件と学習の方法＝

テンションを含んだコード知識があること。電子オルガンだけではなくピアノで参加してもらいます。オルガンの場合は可能な範囲で左手でベースを弾くスタイルを推奨します。

＝授業の概要＝

ジャズミュージックの基本型であるリズムセクション（ピアノ、コントラバス、ドラム）（またはオルガン、ギター、ドラム）を核におき様々な楽器（管楽器、ギターその他）との組み合わせでの即興的、ジャムセッション的なアンサンブルを楽しみつつ行う。

＝授業計画＝

- 1回 ジャズバンドにおける各楽器の役割、仕組みを確認して簡単なフォームの曲（ブルースなど）を演奏する。（その1）
- 2回 ジャズバンドにおける各楽器の役割、仕組みを確認して簡単なフォームの曲（ブルースなど）を演奏する。（その2）
- 3回 ジャズバンドにおける各楽器の役割、仕組みを確認して簡単なフォームの曲（ブルースなど）を演奏する。（その3）

- 4回 難易度の高い曲（キー、テンポ、コード進行など）を用いて演奏してみる。（その1）
- 5回 難易度の高い曲（キー、テンポ、コード進行など）を用いて演奏してみる。（その2）
- 6回 難易度の高い曲（キー、テンポ、コード進行など）を用いて演奏してみる。（その3）
- 7回 コード進行に対してリハーモナイズの可能性を考えたり、曲にアレンジをして演奏してみる。（その1）
- 8回 コード進行に対してリハーモナイズの可能性を考えたり、曲にアレンジをして演奏してみる。（その2）
- 9回 コード進行に対してリハーモナイズの可能性を考えたり、曲にアレンジをして演奏してみる。（その3）
- 10回 管楽器で2、3声のアレンジを各自考えてきて演奏してみる。（その1）
- 11回 管楽器で2、4声のアレンジを各自考えてきて演奏してみる。（その2）
- 12回 各自スタンダード曲にアレンジをしたり、自作曲を作ってきて演奏してみる。（その1）
- 13回 各自スタンダード曲にアレンジをしたり、自作曲を作ってきて演奏してみる。（その2）
- 14回 変拍子、様々なリズム、キーや様々な練習法に挑戦してみる。（その1）
- 15回 変拍子、様々なリズム、キーや様々な練習法に挑戦してみる。（その2）

＝テキスト（必携）＝

特に指定はありませんが様々なスタンダード、ジャズオリジナルの載っている曲集（リアルブック）を各自用意できると良いです。

＝参考書・参考資料（必携）＝

特に指定はありませんが様々なスタンダード、ジャズオリジナルの載っている曲集（リアルブック）を各自用意できると良いです。

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席数（率）および実技（即興演奏も含む）で評価します。
出席や技術・表現力、アンサンブル力に問題ない場合はA、欠席・遅刻がいちじるしい場合はBとします。

＝その他＝

特になし